

授業科目名	構法設計論
講義題目	
授業科目区分	専攻教育科目
開講年度	2012
開講学期	前期集中
曜日時限	集中
必修選択	選択
単位数	2.0
担当教員	安藤邦廣,松村秀一,小見康夫,腰原幹雄,石山央樹
対象学部等	芸術工学部・環境設計学科
対象学年	学部3年
開講地区	大橋地区
履修条件	建築構法について基礎的な知識が身につけていることが求められます。環境設計学科の学生であれば、「環境構法論」の修得が条件となります。
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅の構法設計 ・現代木造の構法設計 ・伝統木造の構法設計 ・鉄骨造の構法設計 ・鉄筋コンクリート造の構法設計
全体の教育目標	建築がどのような材料と架構方法でつくられているかを学びます。あわせて、その構法の設計方法についても学びます
個別の学習目標	具体的には、主体構造別に木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造に分け、各構造形式がもつ構法的・材料的・構造的・施工上の特徴、さらに、構造物に共通する地盤と基礎の考え方、工事全体に関する施工方法、工事に伴う施工計画、コスト管理に関係する積算と建設業固有の契約方法と工事管理責任等を学びます。
授業計画	原則、土曜日に実施します。基本的に3限から5限にかけて行いますが、詳細な授業計画は初回の授業の際にお知らせします。また、外部への見学も行います。
キーワード	在来木造、伝統木造、現在木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造
授業の進め方	基本的にパワーポイントを用いて講義形式で授業を行います。一部の授業は外部へ見学に行きます。
テキスト	授業の際に適宜プリントを配布します。

参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築とモノ世界をつなぐーモノ・ヒト・産業、そして未来 (彰国社)松村 秀一 (著) ・ 住に纏わる建築の夢ーダイマキシオン居住機械からガンプ構法まで (東洋書店)松村 秀一 (著)
学習相談	授業の開始前、および、終了後に受け付けます。また、メールによる相談も可です。
試験／成績評価の方法等	成績評価は、授業の終了時に提示されたレポート課題の成績によって評価します。
その他	設計演習は構法計画を具体的に考える良い機会なので、講義中に得た知識を常に応用する姿勢が求められます。また、建築生産も併せて修得すると良いでしょう。